

日興・アッシュモア・グローイング・マルチストラテジー・ファンド
〈愛称 ネクスト・スター〉

償還 運用報告書(全体版)

第60期(決算日 2022年3月17日) 第61期(償還)(償還日 2022年6月17日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「日興・アッシュモア・グローイング・マルチストラテジー・ファンド」は、信託約款の規定に基づき、2022年6月17日に信託期間が終了し、償還いたしました。

ここに、設定以来の運用状況と償還内容をご報告いたしますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に對しまして、重ねてお礼申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	2007年4月27日から2022年6月17日までです。
運用方針	主として投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券(振替投資信託受益権を含みます。))および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。)に分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「アッシュモア・グローイング・マルチストラテジー・ファンド・リミテッド クラスB」投資証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

<952591>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近10期の運用実績

決算期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 率	純 資 産 額
		税 分 配	込 金	騰 落 率					
52期(2020年3月17日)	円 銭 8,286		円 30	△20.0		% —	% 97.9	百万円 2,400	
53期(2020年6月17日)	8,913		30	7.9		—	98.0	2,551	
54期(2020年9月17日)	9,169		30	3.2		—	97.9	2,564	
55期(2020年12月17日)	9,464		30	3.5		—	97.9	2,553	
56期(2021年3月17日)	9,807		30	3.9		—	97.7	2,576	
57期(2021年6月17日)	10,031		30	2.6		—	97.9	2,552	
58期(2021年9月17日)	9,559		30	△4.4		—	97.9	2,377	
59期(2021年12月17日)	9,170		30	△3.8		—	97.9	2,235	
60期(2022年3月17日) (償還時)	8,409		30	△8.0		—	97.9	1,989	
61期(2022年6月17日)	(償還価額) 8,845.24		—	5.2		—	—	2,053	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

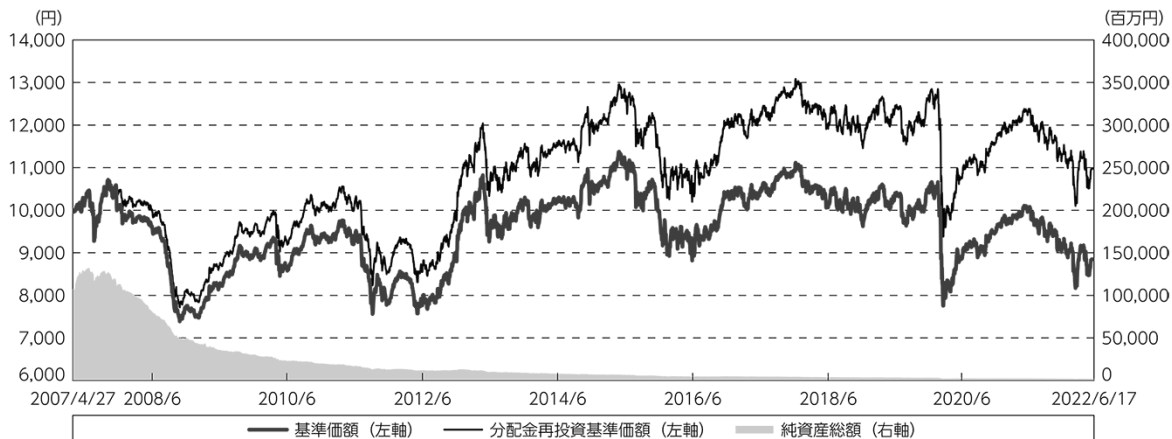
決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	
			債 券 組 入 比	投 資 信 託 券 率
第60期	(期 首)	円 銭	%	%
	2021年12月17日	9,170	—	97.9
	12月末	9,188	0.2	97.9
	2022年1月末	8,982	△2.1	97.9
	2月末	8,733	△4.8	97.8
第61期	(期 末)			
	2022年3月17日	8,439	△8.0	97.9
	(期 首)			
	2022年3月17日	8,409	—	97.9
	3月末	8,998	7.0	97.9
4月末	8,837	5.1	97.9	
5月末	8,654	2.9	98.0	
(償還時)	(償還価額)			
2022年6月17日	8,845.24	5.2	—	

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

(2007年4月27日～2022年6月17日)

設定以来の基準価額等の推移



設 定 日：10,000円

第61期末(償還日)：8,845円24銭(既払分配金(税込み)：2,060円)

騰 落 率：9.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、新興国の様々な資産に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってきました。信託期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国金利が低下し、債券価格が上昇したこと。
- ・新興国株式が現地通貨ベースで上昇したこと。

<値下がり要因>

- ・新興国通貨が対アメリカドルで大幅に下落したこと。
- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと(2016年4月以降)。

投資環境

(新興国株式市況)

新興国株式は、グローバルにおける新興国経済の重要度が高まり、中国で見られるように、経済発展とともに株式市場などの資本市場の規模が増大したことなどを受けて、現地通貨ベースでは大幅な上昇となりました。先進国株式同様に、リーマンショックや新型コロナウイルスの感染拡大の局面では下落する場面もありましたが、下落は一時的なものにとどまりました。期間の初めの新興国経済は、一次産品の輸出が中心でしたが、その後はアジアを中心に先進国の工場として製造業の分野において重要な役割を示しました。最近では、新興国各国の国内総生産（GDP）上昇に伴ない、経済の中で個人消費の割合が高まり、中国などアジア地域は、先進国企業にとって大きな消費者を抱える市場に転じています。

地域別には、中国のGDP拡大を受けてアジア地域が新興国株式市場に占める割合は非常に高くなりました。期間の初めはアジアは欧米企業に対して低コストの製品を提供する「世界の工場」の役割でしたが、中国や台湾、韓国はテクノロジー分野において世界のリーディングカンパニーを輩出しており、株式市場においてもそれらの企業が時価総額上位に顔を出すようになりました。

(新興国債券市況)

新興国債券市場は、2008年のリーマンショック、2010年のITバブル崩壊、欧州ソブリン危機、2013年の米国テーパリング（量的金融緩和の縮小）、2020年の新型コロナショックと様々なイベントを経てきましたが、米国10年金利が2007年の5%から2020年には1%割れの水準まで低下（債券価格は上昇）するなかで、堅調に推移しました。リスクオフの局面ではスプレッド（利回り格差）の拡大を伴いながら一時的に債券価格が下落する局面もありましたが、新興国債券のスプレッド水準はレンジ内で推移したことから、長期的に見れば高い利回り水準を維持しながら安定的に上昇しました。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.50%近辺から、2008年秋以降の金融危機局面の日銀による政策金利引き下げや、その後2016年の日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.04%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.6%近辺から、日銀による国債買入れなどを受けて期間を通じて0.20%から-0.4%のレンジで主に推移し、-0.2%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

新興国通貨は期間を通じて対アメリカドルで大きく下落しました。金融政策に失敗したアルゼンチンやトルコでは通貨が90%程度下落し、中国を除くアジア通貨や南米通貨も総じて30%近く下落しました。通貨自体は下落していますが、新興国市場の金利水準は先進国と比較すると非常に高く、キャリーを加味したトータルリターンはプラスとなりました。円／アメリカドル相場は期間の初めは120円水準でしたが、東日本大震災で円高が急速に進行したあとは、「アベノミクス」による効果で円安が進み、足元では日米の金融政策の違いを反映して130円台まで円安が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「アッシュモア・グローイング・マルチストラテジー・ファンド・リミテッド クラスB」投資証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

当ファンドは2007年4月27日の設定以来、約15年1ヵ月にわたり運用してまいりました。このたび、約款の規定に基づき、信託終了日を2022年6月17日として償還いたしました。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(アッシュモア・グローイング・マルチストラテジー・ファンド・リミテッド クラスB)

新興国市場の債券、株式を中心とした幅広い投資テーマの資産を投資対象とし、各投資テーマへの資産配分を積極的に行ない、様々な投資機会を活用しました。

資産別の配分は、市場環境に応じて新興国株式や現地通貨建債券の割合を適宜増減させましたが、基本的には米ドル建て新興国債券を中心としたポートフォリオ構成を維持しました。

期間の初めに組み入れていたスペシャル・シチュエーションは、その後投資機会がなかったことから、近年は組入れはありませんでした。

(マネー・オープン・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

信託期間中における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案して決定し、1万口当たりの累計は2,060円（税込み）となりました。また、第60期における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりとしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたしました。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第60期
	2021年12月18日～ 2022年3月17日
当期分配金	30
(対基準価額比率)	0.355%
当期の収益	5
当期の収益以外	24
翌期繰越分配対象額	740

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年12月18日～2022年6月17日)

項 目	第60期～第61期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	46	0.521	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(14)	(0.154)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(31)	(0.351)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.035	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(3)	(0.033)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	49	0.556	
作成期間の平均基準価額は、8,898円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

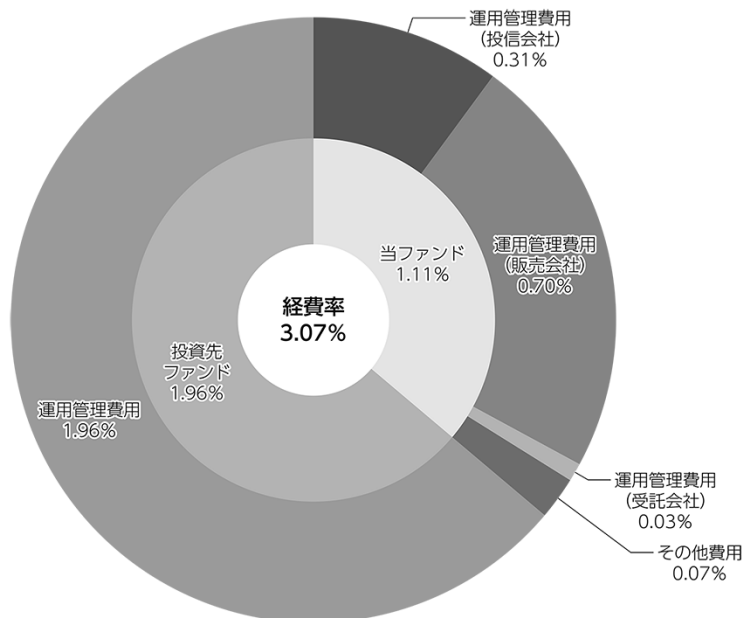
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は3.07%です。



(単位:%)

経費率(①+②)	3.07
①当ファンドの費用の比率	1.11
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.96

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年12月18日～2022年6月17日)

投資信託証券

銘柄		第60期～第61期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	アッシュモア・グローイング・マルチストラテジー・ファンド・リミテッドクラスB	千口 8,601	千円 8,712	千口 2,098,255	千円 2,131,427

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第60期～第61期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・オープン・マザーファンド	千口 20	千円 20	千口 2,201	千円 2,236

○利害関係人との取引状況等

(2021年12月18日～2022年6月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年12月18日～2022年6月17日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年12月18日～2022年6月17日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年6月17日現在)

2022年6月17日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第59期末	
		口	数
			千口
アッシュモア・グローイング・マルチストラテジー・ファンド・リミテッド クラスB			2,089,653
合	計		2,089,653

親投資信託残高

銘	柄	第59期末	
		口	数
			千口
マネー・オープン・マザーファンド			2,181

○投資信託財産の構成

(2022年6月17日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	2,066,497	100.0
投資信託財産総額	2,066,497	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び償還(基準)価額の状況

項 目	第60期末	償 還 時
	2022年3月17日現在	2022年6月17日現在
	円	円
(A) 資産	2,003,462,323	2,066,497,953
コール・ローン等	53,539,967	2,066,497,953
投資証券(評価額)	1,947,908,103	—
マネー・オープン・マザーファンド(評価額)	2,014,253	—
(B) 負債	14,040,726	13,250,811
未払収益分配金	7,097,058	—
未払解約金	452,399	6,405,801
未払信託報酬	5,553,566	5,485,070
未払利息	6	5,869
その他未払費用	937,697	1,354,071
(C) 純資産総額(A-B)	1,989,421,597	2,053,247,142
元本	2,365,686,280	2,321,302,844
次期繰越損益金	△ 376,264,683	—
償還差損金	—	△ 268,055,702
(D) 受益権総口数	2,365,686,280口	2,321,302,844口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,409円	—
1万口当たり償還価額(C/D)	—	8,845円24銭

(注) 当ファンドの第60期首元本額は2,438,317,049円、第60～61期中追加設定元本額は13,730,887円、第60～61期中一部解約元本額は130,745,092円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第60期0.8409円、第61期0.884524円です。

(注) 2022年6月17日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は268,055,702円です。

○損益の状況

項 目	第60期	第61期
	2021年12月18日～ 2022年3月17日	2022年3月18日～ 2022年6月17日
	円	円
(A) 配当等収益	7,199,046	△ 11,339
受取配当金	7,200,000	—
支払利息	△ 954	△ 11,339
(B) 有価証券売買損益	△174,433,787	106,943,040
売買益	1,256,737	108,198,613
売買損	△175,690,524	△ 1,255,573
(C) 信託報酬等	△ 5,857,331	△ 5,924,796
(D) 当期損益金(A+B+C)	△173,092,072	101,006,905
(E) 前期繰越損益金	△179,886,502	△352,136,386
(F) 追加信託差損益金	△ 16,189,051	△ 16,926,221
(配当等相当額)	(20,029,485)	(20,103,947)
(売買損益相当額)	(△ 36,218,536)	(△ 37,030,168)
(G) 計(D+E+F)	△369,167,625	—
(H) 収益分配金	△ 7,097,058	—
次期繰越損益金(G+H)	△376,264,683	—
償還差損金(D+E+F+H)	—	△268,055,702
追加信託差損益金	△ 16,189,051	—
(配当等相当額)	(20,029,485)	(—)
(売買損益相当額)	(△ 36,218,536)	(—)
分配準備積立金	155,200,297	—
繰越損益金	△515,275,929	—

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2021年12月18日～2022年3月17日)は以下の通りです。

項 目	2021年12月18日～ 2022年3月17日
a. 配当等収益(経費控除後)	1,341,682円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	20,029,485円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	160,955,673円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	182,326,840円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	770円
g. 分配金	7,097,058円
h. 分配金(1万口当たり)	30円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2007年4月27日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2022年6月17日			資産総額	2,066,497,953円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	13,250,811円	
				純資産総額	2,053,247,142円	
受益権口数	107,329,849,818口	2,321,302,844口	△105,008,546,974口	受益権口数	2,321,302,844口	
元本額	107,329,849,818円	2,321,302,844円	△105,008,546,974円	1万円当たり償還金	8,845円24銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	125,885,102,960円	128,266,374,039円	10,189円	0円	0.0%	
第2期	124,526,879,293	123,607,379,584	9,926	0	0.0	
第3期	109,106,147,006	109,935,970,230	10,076	350	3.5	
第4期	103,411,798,847	101,542,897,422	9,819	30	0.3	
第5期	86,026,144,906	83,183,211,632	9,670	30	0.3	
第6期	74,274,224,722	65,036,317,699	8,756	30	0.3	
第7期	64,109,266,222	48,587,414,956	7,579	30	0.3	
第8期	56,310,386,271	42,733,262,878	7,589	30	0.3	
第9期	44,291,325,730	36,534,740,674	8,249	30	0.3	
第10期	38,848,140,847	34,171,057,318	8,796	30	0.3	
第11期	34,056,554,379	30,394,987,609	8,925	30	0.3	
第12期	30,743,605,683	28,235,289,756	9,184	30	0.3	
第13期	27,138,627,200	23,480,212,964	8,652	30	0.3	
第14期	24,316,295,341	22,210,648,292	9,134	30	0.3	
第15期	21,399,639,677	19,779,973,729	9,243	30	0.3	
第16期	19,972,893,356	18,593,327,231	9,309	30	0.3	
第17期	18,332,519,266	16,973,155,983	9,258	30	0.3	
第18期	17,233,653,789	14,376,117,057	8,342	30	0.3	
第19期	16,499,858,806	12,945,351,360	7,846	30	0.3	
第20期	15,716,148,581	13,340,537,653	8,488	30	0.3	
第21期	15,160,120,796	11,726,257,775	7,735	30	0.3	
第22期	14,445,892,573	11,775,468,821	8,151	30	0.3	
第23期	13,776,101,937	12,304,095,240	8,931	30	0.3	
第24期	11,946,168,840	12,058,573,570	10,094	30	0.3	
第25期	10,544,699,514	10,078,934,071	9,558	30	0.3	
第26期	9,968,396,938	9,695,438,153	9,726	30	0.3	
第27期	8,899,119,347	9,002,054,484	10,116	30	0.3	
第28期	8,541,659,687	8,198,392,484	9,598	30	0.3	
第29期	7,857,420,175	7,988,677,910	10,167	30	0.3	
第30期	7,392,965,560	7,535,072,103	10,192	30	0.3	

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第31期	6,701,503,311円	6,798,913,976円	10,145円	30円	0.3%
第32期	6,432,184,024	6,852,527,069	10,653	30	0.3
第33期	5,951,119,684	6,586,748,549	11,068	30	0.3
第34期	5,597,407,102	5,785,820,083	10,337	30	0.3
第35期	5,359,309,250	5,442,583,991	10,155	30	0.3
第36期	5,222,543,207	4,879,856,378	9,344	30	0.3
第37期	5,041,872,400	4,530,928,932	8,987	30	0.3
第38期	4,905,400,957	4,594,505,481	9,366	30	0.3
第39期	4,722,302,358	4,902,656,631	10,382	30	0.3
第40期	4,566,590,016	4,774,958,642	10,456	30	0.3
第41期	4,346,313,373	4,483,629,168	10,316	30	0.3
第42期	4,216,991,323	4,510,989,291	10,697	30	0.3
第43期	3,933,147,424	4,247,325,717	10,799	30	0.3
第44期	3,798,185,079	4,012,166,168	10,563	30	0.3
第45期	3,726,468,799	3,837,083,105	10,297	30	0.3
第46期	3,652,499,436	3,699,198,750	10,128	30	0.3
第47期	3,567,745,626	3,576,235,370	10,024	30	0.3
第48期	3,454,430,200	3,586,939,828	10,384	30	0.3
第49期	3,387,437,267	3,443,520,350	10,166	30	0.3
第50期	3,321,383,591	3,340,165,092	10,057	30	0.3
第51期	3,094,087,758	3,214,997,862	10,391	30	0.3
第52期	2,896,490,119	2,400,061,212	8,286	30	0.3
第53期	2,863,090,202	2,551,886,535	8,913	30	0.3
第54期	2,797,112,811	2,564,684,195	9,169	30	0.3
第55期	2,698,645,555	2,553,907,210	9,464	30	0.3
第56期	2,626,624,664	2,576,020,372	9,807	30	0.3
第57期	2,545,125,609	2,552,986,288	10,031	30	0.3
第58期	2,486,946,700	2,377,181,509	9,559	30	0.3
第59期	2,438,317,049	2,235,873,626	9,170	30	0.3
第60期	2,365,686,280	1,989,421,597	8,409	30	0.3

○分配金のお知らせ

	第60期
1 万口当たり分配金 (税込み)	30円

○償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金 (税込み)	8,845円24銭
------------------	-----------

○お知らせ

約款変更について

2021年12月18日から2022年6月17日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。